

変更後の群馬県営上細井中西部土地改良事業計画書

(区 画 整 理)

群 馬 県

目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	3
第2節	土地状況	4
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4
2.	土地分類	4
3.	土地利用の状況	5
4.	土地所有の状況	5
第3節	水利状況	6
1.	用水状況	6
2.	排水状況	8
3.	河川状況	10
第4節	道路現況	11
1.	道路概況	11
2.	主要道路一覧表	12
第5節	地域農業の概況	13
1.	産業別就業人口	13
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主要作物作付状況	16
5.	農業の動向	17
第6節	地域環境の概況	18
第4章	一般計画	19
第1節	事業計画の要旨	19
1.	要旨	19
2.	事業別面積	19

第2節	営農計画及び土地利用計画	19
1.	営農計画の概要	19
2.	土地利用区分	20
3.	作付方式	20
4.	生産計画	21
5.	労働改善計画	22
第3節	用水計画	23
1.	計画基準年	23
2.	計画かんがい方式	23
3.	計画用水系統	23
4.	計画用水量	25
5.	水源計画	25
第4節	排水計画	27
1.	計画基準雨量	27
2.	計画排水方式	27
3.	計画排水系統	27
4.	計画排水量	29
5.	排水対策	29
第5節	道路計画	30
1.	道路及び索道	30
2.	路線配置図	30
第6節	農用地造成計画	32
第7節	洪水調節計画	32
第8節	干拓計画	32
第9節	農用地整備計画	32
1.	区画整理	32
第5章	主要工事計画	35
第1節	用水施設	35
1.	貯水池	35
2.	頭首工	35
3.	揚水機	35
4.	用水路	35

第2節	排水施設	35
1.	排水水門	35
2.	排水機	35
3.	排水路	36
第3節	道路及び索道	37
1.	道路	37
第4節	農用地造成	38
第5節	洪水調節施設	38
第6節	干拓施設	38
第7節	農用地整備施設	38
1.	区画整理	38
第6章	付帯工事計画	39
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	39
第8章	環境との調和についての配慮	39
1.	環境との調和への配慮の方針	39
2.	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	39
第9章	換地計画の概要	40
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	40
第2節	換地区の設定	40
1.	換地区の名称、所在、地積	40
2.	換地区を設定しない理由	40
第3節	換地計画樹立の基本方針	40
1.	従前の土地の地積の基準	40
2.	用途別予定地積	41
3.	農用地集団化の方針	42
4.	非農用地換地の方法	42
第4節	土地の評価及び清算の方法	43
1.	評価の方法	43
2.	清算の方法	43
第5節	換地計画樹立の年度計画	43
第6節	換地処分の特例	43
第10章	事業費の総額及び内訳	44
第11章	効用	44
第12章	関連する事業	45

第13章	現況・計画図面	45
1.	現況平面図	
2.	計画平面図及び土地利用計画図	
3.	主要構造図	

第1章 目 的

前橋市は、群馬県の中央部よりやや南に位置しており、標高差は海拔65mから1673mの地形により形成されている。また、気象的には夏期の雷雨、冬期の季節風など四季の変化に富み、年間の降水量はあまり多くない。また、内陸性気候の強い地域であり、年間日照時間は比較的長く、利根川水系の水利を生かすなど自然環境に恵まれている。

本地区は、前橋市の北部に位置し、都市近郊の立地条件を活かし、主として養蚕業を営んできたが、生糸価格の低迷から露地野菜（ブロッコリー・キャベツ、ネギ等）へと経営を転換してた。

しかし、不整形な区画・狭小な道路から、大型機械の導入を図ることが困難な生産基盤条件であるとともに、農業者の高齢化、後継者不足が進み、地域活力の低下と、耕作放棄地の増加が顕在化しつつある。

このような中、現在、国道17号バイパスが整備中であり、この優位な地理的条件を生かすため、生産基盤の条件改善を図るとともに、農地の利用集積を進め、農地の有効活用による米及び露地栽野菜生産性の向上を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

地 域
群馬県前橋市上細井町、青柳町、龍蔵寺町

第2節 地 積

(令和6年6月現在)							(第2表)
市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
前橋市	8.2	60.0	—	—	10.7	78.9	図測による
計	8.2	60.0	—		10.7	78.9	

第3章 現 況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	前橋地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H. 3年～R. 2年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (℃)		24.4℃	10.3℃	15.0℃	
降水量	平 均 (mm)	749.8	550.8	1,300.6	
	基準年 (mm)	422.0	402.8	824.0	昭和35年
降水日数	平 均 (日)	52	48	100	
	基準年 (日)	34	47	81	昭和35年
根雪期間		一月 一日～ 一月 一日 (一日間)			
無霜期間		4月 1日～ 11月 15日 (229日間)			前橋 平均値 (S56～H22年)
最多風向		N N W	最大風速 (風向)	29.9m/ s (N N W)	最多風向発生時期 11月～ 3月
					最大風速発生年月日 M. 33年9月28日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備 考
前 橋	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	
観測期間											
M. 30年～R. 2年											
最大日雨量(mm)	357. 4 S22. 9. 15	1/300	262. 4 S30. 8. 6	1/220	233. 5 R1. 10. 12	1/85	201. 0 H11. 8. 14	1/40	180. 0 S33. 9. 26	1/25	
最大時間雨量(mm)	114. 5 H9. 9. 11	1/65	94. 0 S30. 8. 6	1/25	82. 0 S52. 7. 26	1/15	81. 4 S37. 8. 28	1/14	81. 4 S36. 8. 18	1/13	
最大4時間雨量(mm)	188. 5 S30. 8. 6		145. 2 S44. 8. 9		144. 0 S37. 8. 28		134. 0 S25. 7. 28		130. 9 S15. 9. 6		
最大連続雨量(mm)	392. 5 S22. 9. 13 ～S22. 9. 15		338. 9 M43. 8. 6 ～M43. 8. 11		311. 5 S57. 9. 10 ～S57. 9. 12		262. 4 S30. 8. 6 ～S30. 8. 7		200. 4 S25. 7. 27 ～S25. 7. 30		
最大連続干天日数 (日)	63 S56. 12. 3 ～S57. 2. 3	1/64	39 S58. 11. 25 ～S59. 1. 2	1/15	29 S56. 1. 3 ～S56. 1. 31	1/11	27 S60. 12. 8 ～S61. 1. 3	1/10	26 S55. 10. 26 ～S55. 11. 20	1/9	

第2節 土地状況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(令和6年6月現在) (第4表-1-1)

地 目	田						畑 ・ そ の 他						受益地標高(m)		備 考
傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100～ 1/20	1/20～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積(ha)	-	8.2	-	-	-	8.2	-	60.0	-	-	-	60.0	162	124	平均傾斜 1 / 3 3
比率(%)	-	100	-	-	-	100	-	100	-	-	-	100			

(第4表-1-2)

項目 土壌 統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面							堆積様式	母 材			
	色	腐 植	礫 層	酸化沈澱物	土 性					泥炭層、 黒泥層、 グライ層		
					表土	下層土						
					一層	二層	三層					
堀之下統	黄 褐	表 層 腐食層 な し	な し	あ り	砂壤土 SL	砂壤土 SL	砂壤土 SL		風 積 (火山性)	非固結火成 岩 (火山 灰)	38	
中室田統	黄 褐	全層 腐食層	な し	な し	砂壤土 SL	砂壤土 SL	埴壤土 CL		風 積 (火山性)	非固結火成 岩 (火山 灰)	26	
下沖統	灰 褐	表 層 腐食層 な し	あ り (砂層)	－ 糸根, 膜含	砂壤土 SL	砂壤土 SL	埴壤土 CL	なし なし あり	水 積 (河成)	非固結 水成岩	2	
馬場統	黒	全層 腐食層	な し	－ 糸根, 膜含	埴壤土 CL	埴壤土 CL	重埴土 HC	な し	水 積 (河成)	非固結 水成岩	2	
計											68	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和6年6月現在)

(第4表-3)

土地利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
前橋市	8.2	59.7	—	0.3	—	—	0.9	—	—	—	9.8	78.9	
計	8.2	59.7	—	0.3	—	—	0.9	—	—	—	9.8	78.9	

4. 土地所有の状況

(令和6年6月現在)

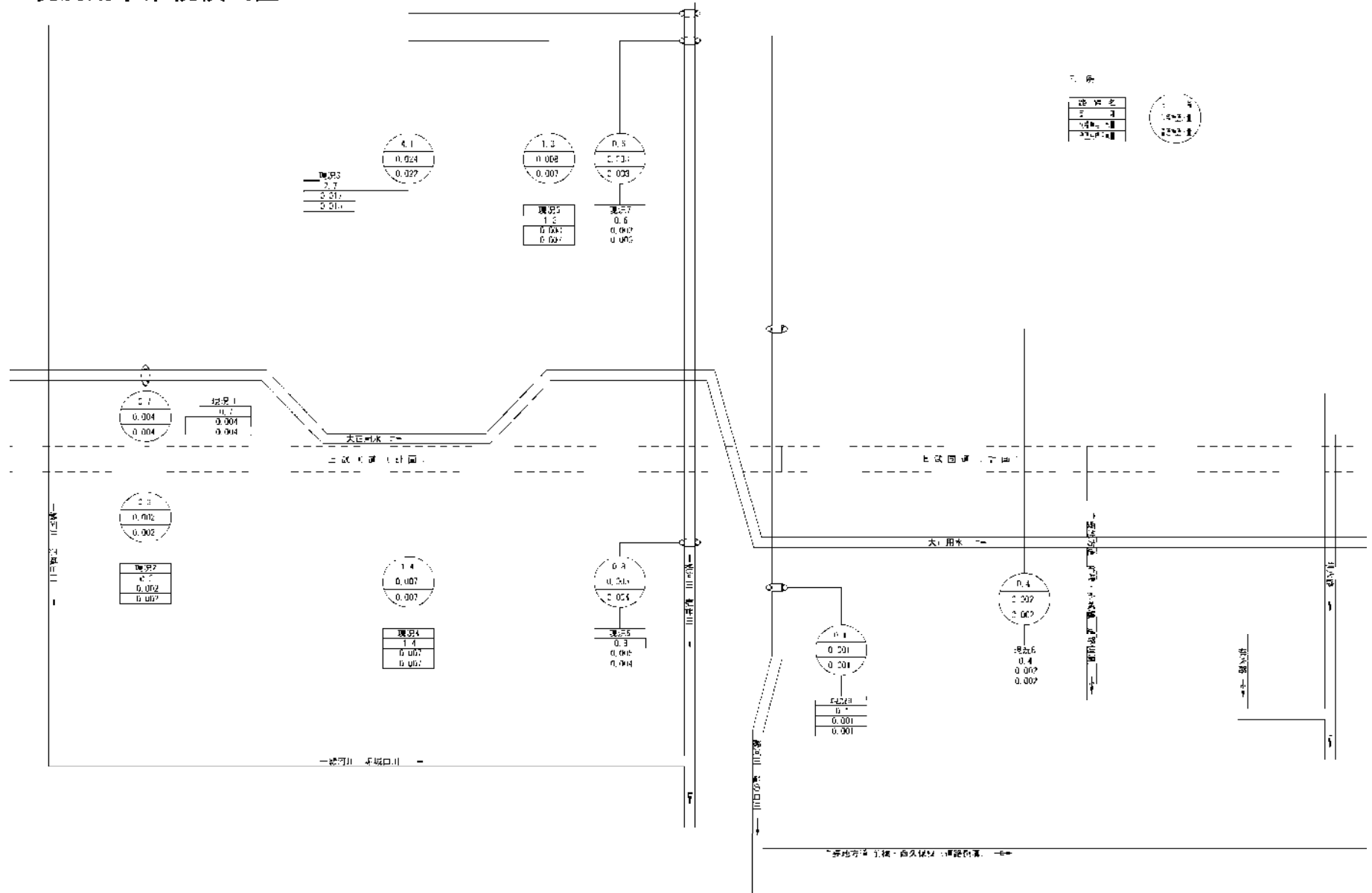
(第4表-4)

所有別 区分	個 人 有	市 町 村 有	県 有	国 有		計	備 考
面 積(ha)	74.1	4.7	—	0.1		78.9	
受 益 者 数	229	—	—	—		229	
筆 数(筆)	918	85	—	10		1,013	
権 利 関 係	所有権	法第5条6項用地	—	所有権及び 法第5条6項用地			
備 考 (関係戸数(戸))	276	—	—	—			

1. 用水狀況

(1) 用水系統

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
	500ha以上		500ha～100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	水利権 上段 代掻期 下段 普通期 ()内は地区外を含む。
井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	5	8.2	5	8.2	1	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	5	8.2	5	8.2	1		—	—	—	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
貯水池	—	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	
用 水 路	—	8.2	U字溝及び土水路		不明	区画整理による、用排水分離	用排兼用一部有
そ の 他	—	—	—	—	—	—	
計		8.2					

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

2. 排水狀況

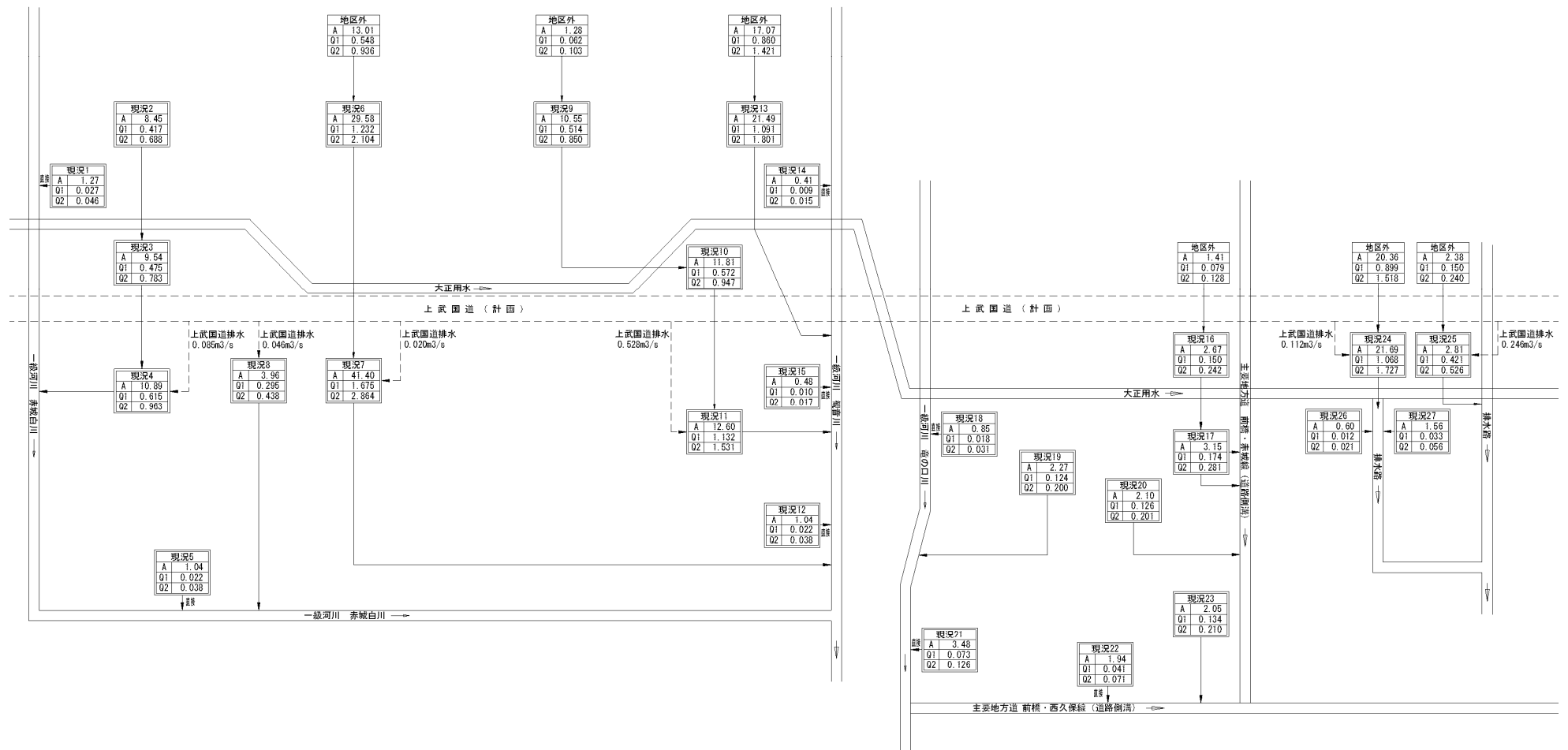
(1) 排水系統

現況排水系統模式図

凡 例

地区内	
A	集水区域
Q1	2年频率
Q2	10年频率

地区外	
A	集水区域
Q1	2年频率
Q2	10年频率



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名		項目		排水面積				計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備 考
				500ha以上		500 ～ 100ha						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自然	排水路	—	—	—	—	27	0.4 ～41.4	27	0.4 ～41.4	11.207	11.207	
	水 門	—	—	—	—	—						
機械	排水機	—	—	—	—	—						
	水門及び排水機	—	—	—	—	—						
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—						
合 計		—	—	—	—	27	0.4 ～41.4	27	0.4 ～41.4	11.207	11.207	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

施設名 \ 項目		施設名 又は 箇所	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
自然	排水路	27	78.9	U字溝及び 土水路		不 明	区画整理による用排分離のため	排水路未整備
	水門							
機械	排水機							
	水門及び排水機							
	排水路及び排水機							
計		27	78.9					

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

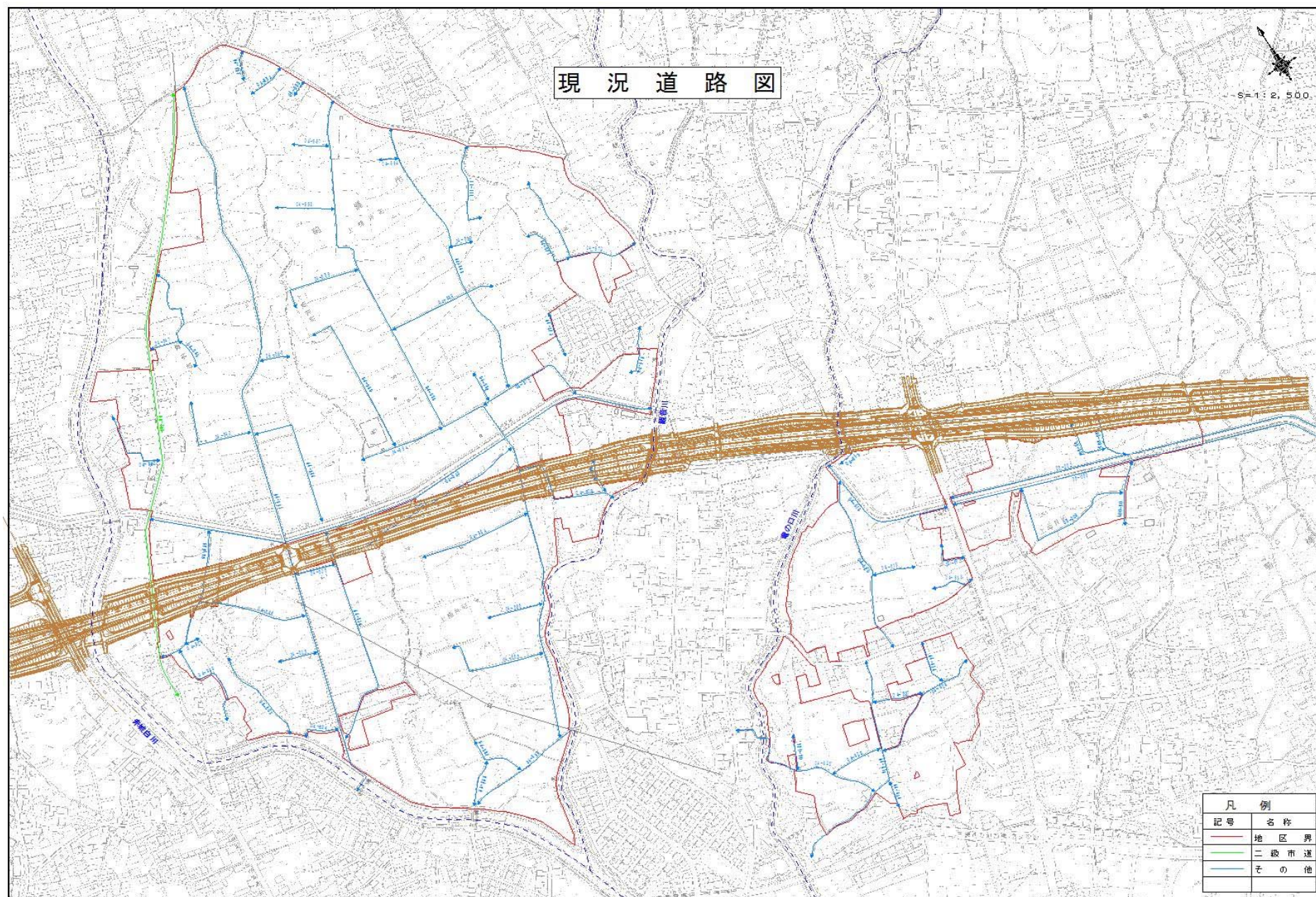
3. 河川状況

(1) 河川の現況

(第5表-7)

項目 \ 河川名		流路状況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
赤城白川		護 岸	1/33			—	一級河川(整備済み)
観音川		護 岸	1/33			—	一級河川(整備済み)
竜の口川		護 岸	1/33			—	一級河川(整備済み)

第4節 道路現況
1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
①	2 級市道	前橋市	225	5.0	4.0	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(資料：令和2年度国勢調査)

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 業 (人)	そ の 他 業 (人)	備 考
前橋市	162,977	6,500	267	15	14	13,179	24,700	924	10,773	26,602	4,416	2,776	55,912	6,901	9,998	
計	162,977	6,500	267	15	14	13,179	24,700	924	10,773	26,602	4,416	2,776	55,912	6,901	9,998	
比率(%)	100.0	4.0	0.2	0.0	0.0	8.1	15.2	0.6	6.6	16.3	2.7	1.7	34.3	4.2	6.1	

2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数

(資料：2020年農林業センサス)

(第7表-2-1)

区分 市町村名	農 家 総戸数 (戸)	経 営 農 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											自給的農家
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	
前橋市	5,713	-	98	493	958	505	238	181	113	94	33	38	2,962
計	5,713	-	98	493	958	505	238	181	113	94	33	38	2,962
比率(%)	100.0%	-	1.7%	8.6%	16.8%	8.8%	4.2%	3.2%	2.0%	1.6%	0.6%	0.7%	51.8%

(資料：2015年農林業センサス)

(第7表-2-2)

区分 市町村名	1 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						農 用 地 の 分 散 状 況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小 計	草 地	計	1戸当たり 団 地 数	団地当 り 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 一 種	第 二 種	
前橋市	0.92	0.67	0.05	1.64	0.06	1.70	-	-	1,268	477	1,956	
計(平均)	0.92	0.67	0.05	1.64	0.06	1.70	-	-	1,268	477	1,956	
比率(%)	54%	39%	3%	96%	4%	100%			34.3%	12.9%	52.9%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(資料：2015年農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備 考
	動力耕運機 乗用トラクター		田 植 機		自脱型コンバイン				乳 用 牛		肉 用 牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
前橋市	4,133	3,098	2,011	1,932	1,524	1,380			11,291	166	15,948	152	130,547	72	
計	4,133	3,098	2,011	1,932	1,524	1,380			11,291	166	15,948	152	130,547	72	
100戸当たり 数量(台,頭)	72		35		27				198		279		2,285		
利用戸数 割合(%)	54%		34%		24%				3%		3%		1%		

4. 主要作物作付状況

資料：第54次農林水産統計年報

(第7表-4)

市 町 村 名			前橋市						計	平均	作付率 (%)	備 考
総農用地面積 (ha)			8, 180						8, 180			
総本地面積 (ha)			7, 920						7, 920			
区分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水稻・他	2, 330	470					2, 330		29	(水稻)
	裏作	麦類・他	1, 640	474					1, 640		20	(小麦)
小計			3, 970						3, 970		49	
畑	春夏作	野菜類	2, 387	6, 734					2, 387		29	(きゅうり)
	秋冬作	ホウレン草等	273	1, 096					273		3	(ホウレン草)
小計			2, 660						2, 660		33	
樹園地	果 樹		210	438					210		3	(うめ)
	桑・飼肥料作物等		1, 490	7, 180					1, 490		18	(青刈トウモロコシ)
小計			1, 700						1, 700		21	
計			8, 330						8, 330		102	
市町村別延べ作付率 (%)			101. 8%						101. 8%			県平均91. 8%

※市町村別作付面積についての近年統計データがないため、第54次統計年報のデータを用いた。

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状 況 C年を 100 とする 指 数	総農家数	91	79	耕地	101	97	水稻	108	105	乳用牛	89	93	トラクター	81	65	A：平成27年 (2015年農業センサス) 市町村合併後 B：平成22年 (2010年農業センサス) C：平成17年 (2005年農業センサス)
	専業農家数	100	89	田	105	104	麦類	101	101	肉用牛	141	127	動力 防除機	-	-	
	第一種兼業 農家数	61	45	畑	96	90	いも類	47	50	豚	125	102	田植機	72	54	
	第二種兼業 農家数	78	56	樹園地	124	90	豆類	163	88	採卵鶏 (百羽)	197	195	自脱型 コンバイン	67	49	
	農業 従事者数	75	53				野菜類	99	91	ブロイラー (百羽)	-	-				
変化の 理由	社会経済の変化			農地転用による			水稻の生産調整 転作の奨励による			生活環境、食肉需要の 変化による			労力の減少に伴う 機械化省力営農の 定着			
地 指 指 定 等				農振地域指定（S45） 野菜指定産地冬春きゅうり（S54）												

第6節 地域環境の概況

本地域は、前橋市の北部に位置し、田畑の混在する農村風景を色濃く残している地域である。

自然環境の現状としては、赤城南麓に代表される豊かな森林や多くの河川などの貴重な自然を有しており、多様な生物が生息する生息環境をもっている。

しかし、生活様式の変化や生活圏の拡大などにより、生息に適切な環境が失われつつあり、以前は身近にみられた生物が、現在は確認することが難しい種も多々ある。

このような環境の中、ドジョウ、サワガニ、ツチガエルなどが生息し、一部の水路においては、ゲンジボタルも確認されている。

また、鳥類では、人家及びその周辺の畑等に生息するスズメ、水辺に主に生息するセグロセキレイ、林縁部に生息しているモズ、ホオジロが地区内の環境を利用している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

この計画は、農用地を集約し区画形質を変更するとともに、道路・農業用排水施設を整備して、農業生産性の向上を図ろうとするものである。

区域は、前橋市上細井町、青柳町、龍蔵寺町地内の79haであり、標準区画を30a(75m×40m)とする。小排水路はU字溝として管理の合理化を図るものとするが、多様種の生物の生息地域であることから、これらの生き物に配慮した環境配慮型の水路を積極的に取り入れる。

なお、換地により担い手への農地集積を念頭に置き、将来的な賃貸借に配慮した土地秩序を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区 画 整 理	2.9	60.3	0.3	15.4	78.9	図測面積による
計	2.9	60.3	0.3	15.4	78.9	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区では、農地の流動化を図り大型機械の導入等により、労働力の省力化、生産コストの軽減、生産性の向上を図り、土地の高度利用、低コストによる農業経営の安定向上を期す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
現 況	8.2	59.9	—	0.3	—	—	68.4	—	—	10.5	78.9	
計 画	2.9	60.3	—	0.3	—	—	63.5	—	—	15.4	78.9	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営類型	土地利用 区分	1 年 目 (月)												2 年 目 (月)												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現 況	水 稲	水田				○	—	△										○	—	△							
	ブロッコリー																										
	ネギ					○		△																			
	ナス					○		△	×									○		△	×						
	サトイモ					△					×	×						△					×	×			
	キャベツ	畑	○		△			×	×						○		△			×	×						
	ブロッコリー																										
	キャベツ		○		△			×	×						○		△			×	×						
	ネギ		○		△										○		△										
	タマネギ																										
	ナス					○		△	×									○		△	×						
	サトイモ					△												△					×	×			
	レタス		○		△			×	×						○		△			×	×						
	バラ					△	△																				
	トマト																										
	トウモロコシ					○	○		×	×								○	○		×	×					
	飼料作物					○												○					○	×	×	×	
	ダイコン																										
	ホウレンソウ																										
	ナシ																										
計 画	水 稲	水田				○	—	△										○	—	△							
	キャベツ																										
	ブロッコリー																										
	ネギ					○		△																			
	ナス					○		△	×									○		△	×						
	サトイモ	畑				△												△					×	×			
	ブロッコリー																										
	キャベツ		○		△			×	×						○		△			×	×						
	ホウレンソウ																										
	タマネギ																										
	ナス					○		△	×									○		△	×						
	サトイモ					△												△					×	×			
	ブロッコリー		×	×	×										○		△		×	×	×		○		△		
	レタス					○		△	×	×								○		△	×	×					
	ダイコン																										
	キャベツ																										
	ネギ		○		△			△							○		△		△				×				
	バラ					△	△																				
	トマト																										
	イチゴ																										
	トウモロコシ					○	○		×	×								○	○		×	×					
	ブロッコリー		×	×	×										○		△		×	×	×		○		△		
	飼料作物					○												○					○	×	×		
	キュウリ		○		△	×			×						○		△	×		×		○	△	×			
	エダマメ					○		△		×	×							○		△		×	×				
	ホウレンソウ																										
	ナシ																										

4. 生産計画

(第9表-3)

項 目 土地利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)		作 付 率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
			現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増減	
水 田	表 作	水 稲	4.2	2.2	55.3	81.5	508	518	21.3	11.3	△ 10.0		△ 10.0	水管理改良
		ブロッコリー	0.3		3.9		841	841	2.5		△ 2.5	△ 2.5		
		ネギ	0.1	0.5	1.3	18.5	1,934	1,934	1.9	9.6	7.7	7.7		作付転換
		ナス	0.2		2.6		3,921	3,921	7.8		△ 7.8	△ 7.8		
	サトイモ	0.2		2.6		946	946	1.9		△ 1.9	△ 1.9			
	裏 作	キャベツ	0.2		2.6		6,696	6,696	13.4		△ 13.4	△ 13.4		
普 通 畑	表 作	ブロッコリー	18.4	18.9	31.2	32.3	841	841	154.7	158.9	4.2	4.2		作付転換
		キャベツ	4.6	5.6	7.8	9.6	6,696	6,696	308.0	375.0	67.0	67.0		作付転換
		ネギ	5.8	7.0	9.8	12.0	1,934	1,934	112.2	135.4	23.2	23.2		作付転換
		タマネギ	2.5	3.0	4.2	5.1	4,512	4,512	112.8	135.4	22.6	22.6		作付転換
		ナス	1.0	2.0	1.7	3.4	3,921	3,921	39.2	78.4				
		サトイモ	0.8	1.5	1.4	2.6	946	946	7.6	14.2	6.6	6.6		作付転換
		レタス	0.2	5.0	0.3	8.5	4,146	4,146	8.3	207.3	199.0	199.0		作付転換
		バラ	0.4	0.6	0.7	1.0	62千本	62千本	248.0	372.0	124.0	124.0		作付転換
		トマト	0.1	0.4	0.2	0.7	7,603	7,603	7.6	30.4	22.8	22.8		作付転換
		イチゴ		0.4		0.7	2,415	2,415		9.7	9.7	9.7		作付転換
		トウモロコシ	3.4	5.0	5.7	8.5	864	864	29.4	43.2	13.8	13.8		作付転換
		飼料作物	2.9	2.9	4.9	5.0	5,704	5,704	165.4	165.4				
		キュウリ		2.3		3.9	12,285	12,285		282.6	282.6	282.6		作付転換
		エダマメ		4.0		6.8	444	444		17.8	17.8	17.8		作付転換
	裏 作	ダイコン	1.7	2.5	2.9	4.3	3,685	3,685	62.6	92.1	29.5	29.5		作付転換
		ハウレンソウ	2.8	19.2	4.7	32.8	981	981	27.5	188.4	160.9	160.9		作付転換
		キャベツ		2.5		4.3	6,696	6,696		167.4	167.4	167.4		作付転換
		ブロッコリー		6.0		10.2	841	841		50.5	50.5	50.5		作付転換
		キュウリ		2.3		3.9	12,285	12,285		282.6	282.6	282.6		作付転換
樹園地	表 作	ナシ	0.3	0.3	100.0	100.0	2,368	2,368	7.1	7.1				
合 計			50.1	94.1	74.7	152.8			1,339.2	2,834.7	1,456.3	1,466.3	△ 10.0	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
			区分	現況	計画	増減	
水田・普通畑	水稲	2.2	人 力	344.9	110.4	△ 234.5	
			機 械 力	80.9	32.2	△ 48.7	
	葉茎菜類1 (定植栽培) ブロッコリー	24.9	人 力	865.0	549.5	△ 315.5	
			機 械 力	255.0	129.9	△ 125.1	
	葉茎菜類1 (定植栽培) キャベツ	8.1	人 力	865.0	549.5	△ 315.5	
			機 械 力	255.0	129.9	△ 125.1	
	葉茎菜類1 (定植栽培) ネギ	7.5	人 力	865.0	549.5	△ 315.5	
			機 械 力	255.0	129.9	△ 125.1	
	葉茎菜類1 (定植栽培) タマネギ	3.0	人 力	865.0	549.5	△ 315.5	
			機 械 力	255.0	129.9	△ 125.1	
	果菜類1 (定植栽培) ナス	2.0	人 力	595.0	396.2	△ 198.8	
			機 械 力	255.0	119.0	△ 136.0	
	根菜類1 (種いも栽培) サトイモ	1.5	人 力	665.0	186.4	△ 478.6	
			機 械 力	225.0	98.3	△ 126.7	
	葉茎菜類1 (定植栽培) レタス	5.0	人 力	865.0	549.5	△ 315.5	
			機 械 力	255.0	129.9	△ 125.1	
	果菜類2 (直まき栽培) トウモロコシ	5.0	人 力	549.1	345.9	△ 203.2	
			機 械 力	289.1	148.8	△ 140.3	
	果菜類1 (定植栽培) エダマメ	4.0	人 力	595.0	396.2	△ 198.8	
			機 械 力	255.0	119.0	△ 136.0	
	根菜類2 (直まき栽培) ダイコン	2.5	人 力	727.6	195.2	△ 532.4	
			機 械 力	317.6	127.5	△ 190.1	
	葉茎菜類2 (直まき栽培) ホウレンソウ	19.2	人 力	649.1	445.9	△ 203.2	
			機 械 力	289.1	148.8	△ 140.3	
	飼料用トウモロコシ	2.9	人 力	249.4	37.9	△ 211.5	
			機 械 力	89.4	34.8	△ 54.6	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和35年（利根川基準年による）

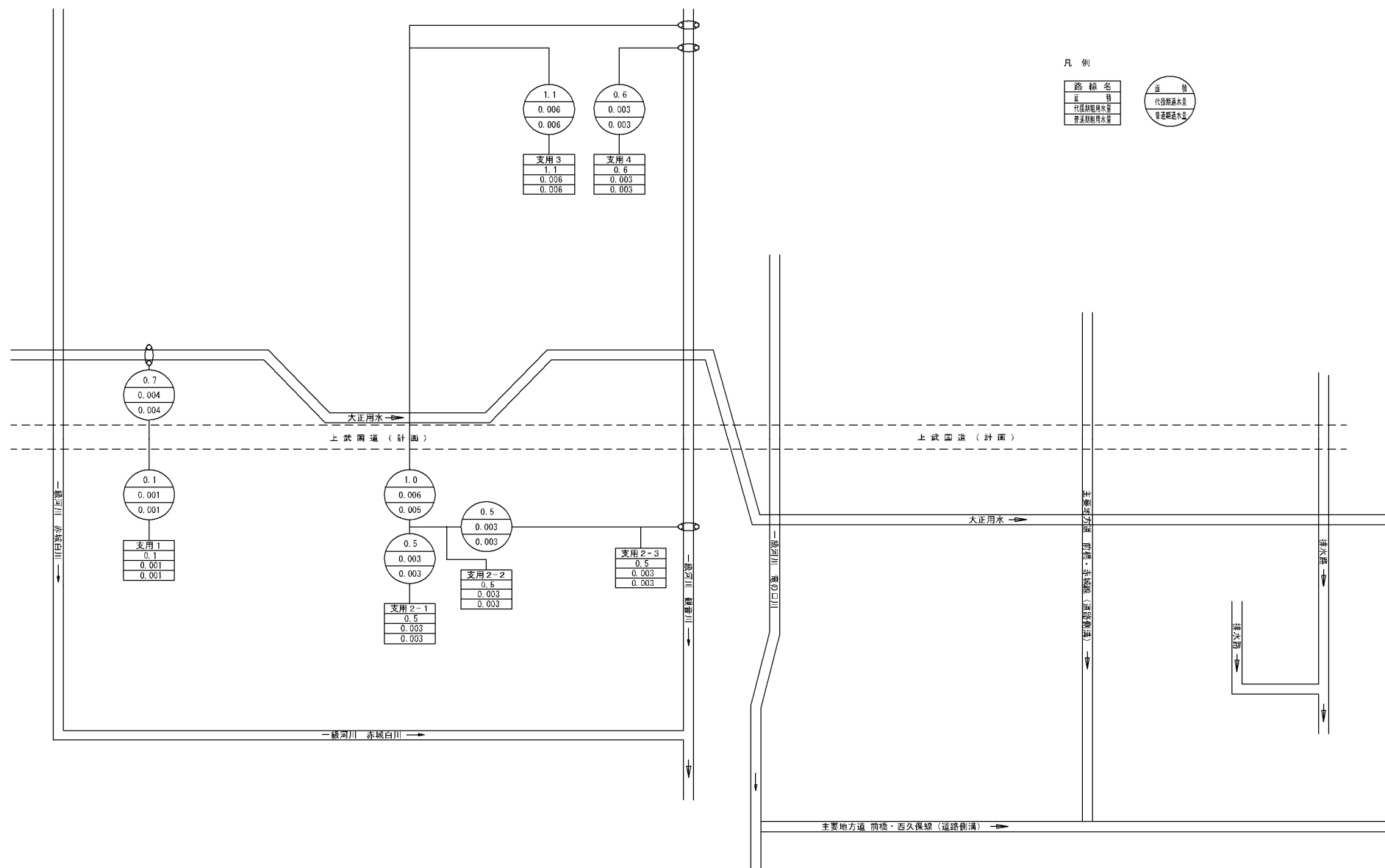
2. 計画かんがい方式

水田	水稲	たん水かんがい	かんがい期間	6月1日～9月25日（代かき 左記の内30日間）
----	----	---------	--------	--------------------------

3. 計画用水系統

別紙添付の計画用水系統模式図のとおり

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目 種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	粗用水量	
		事業名			普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m³/日)	面積 (ha)			平均	最大
		地区内	地区外	計	計画平 均単位 用水量 (mm/ 日)	計画代 掻単位 用水量 (mm/ 日)		計画平 均かん 水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均かん 水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m³/日)	面積 (ha)				
	利根川水系	農業用水	2.9	0.0	2.9	39	150	2.9	-	-	-	-	-	-	-	0.014	15	0.015	0.017
	計		2.9	0.0	2.9	39	150	2.9	-	-	-	-	-	-	-	0.014		0.015	0.017

5. 水源計画

(1) 水利用計画

有効雨量 : 考慮しない

反復利用 : 考慮しない

損失率 : 地区内 15%

地区外 15%

(第10表-2-2-1)

区分		現 況 (m ³ /s)		計 画 (m ³ /s)		備 考
		代掻期	普通期	代掻期	普通期	
純用水量		0.035	0.032	0.014	0.012	
有効雨量		—	—	—	—	
損失水量		0.006	0.006	0.003	0.002	
全用水量		0.041	0.038	0.017	0.014	
利用 可能 量	上細井	0.041	0.038	0.017	0.014	
	計	0.041	0.038	0.017	0.014	
不足量		—	—	—	—	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				
支線用水路	2.9		2.9	0.010	1,279	コンクリートBF300	
					—	—	
計	2.9		2.9		1,279		

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

群馬県農政部確率雨量計算システムより（北緯 $36^{\circ} 25' 30'' \sim 36^{\circ} 26' 00''$ 、東経 $139^{\circ} 04' 30'' \sim 139^{\circ} 05' 15''$ ）

1/10年確率雨量を適用

(1)	24時間確率雨量	143.3 mm	(超過確率計算)
(2)	4時間確率雨量	28.9 mm	(長時間降雨強度式・・・ $150.4 / (T+1.2)$)
(3)	1時間確率雨量	68.5 mm	(短時間降雨強度式・・・ $6830.1 / (T+39.7)$)

2. 計画排水方式

排水方式・・・・・・自然排水

幹線排水路・・・・・・到達時間内雨量、到達時間内排水（流域面積 50ha以上及び急峻な地区外流域を有する水路）

支線排水路・・・・・・4雨量4時間排水（流域面積 50ha未満の流域を有する水路）

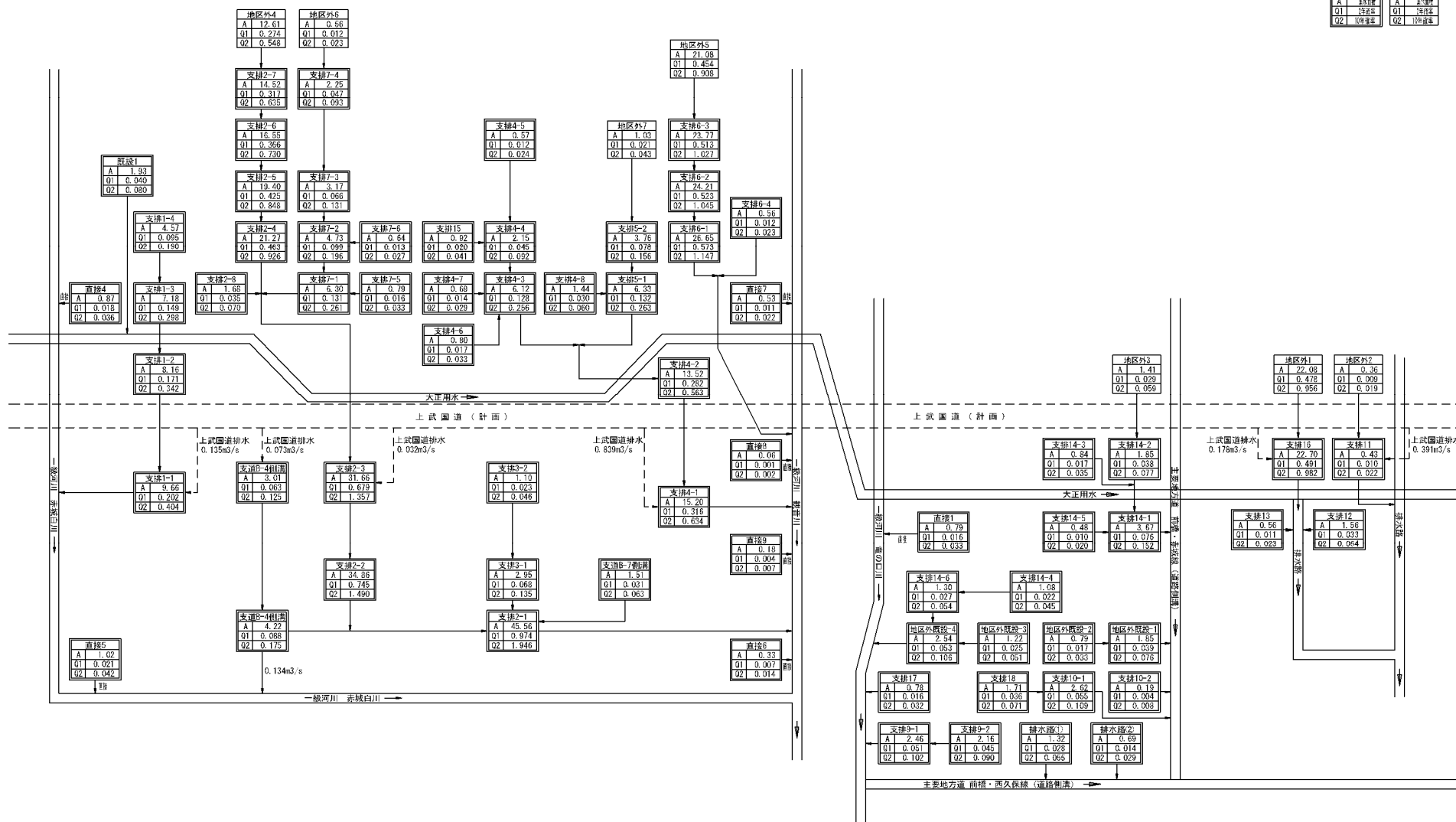
3. 計画排水系統

別紙添付の計画排水系統模式図のとおり

計画排水系統模式図

凡 例

地区内	地区外
A 雨水	A 雨水
Q1 汚水	Q1 汚水
Q2 雨水	Q2 雨水



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)	流域面積 (ha)	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$)	基底出量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$)	全排水量 (m^3/s)		単位排水量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$)	備考
						自然排水	機械排水		
支線、取付排水路 (51路線)	138.4	0.2～28.0	68.5	3.613～ 4.817	—	10.900	—	5.555～ 10.407	
計	138.4					10.900			

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
						名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	
幹線排水路	—	—	—	—	—				
支線排水路	0.2～28.0	138.4	0.007～1.915	8,341	コンクリート RDU303～RDU1010	赤城白川 観音川 竜の口川			
計		138.4		8,341					

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
支 線 道 路	5.0(4.0) × 9,240	敷 砂 利 舗 装	全て上位又は同格の道路と連絡	
支 線 道 路	4.0(3.0) × 2,437	アスファルト舗装 敷砂利舗装	〃	
耕 作 道 路	3.0(2.0) × 153	敷 砂 利 舗 装	〃	
計	11,830			

(2) 索道

該当なし

2. 路線配置図

別添計画道路路線配置模式図のとおり

計画道路路線配置模式図



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)		区 画 面 積 (a)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
水田	75m×40m	30	2.9	100	0.4	
	端田区	30未満	0.0	0	—	
	小 計		2.9	100		
計			2.9			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

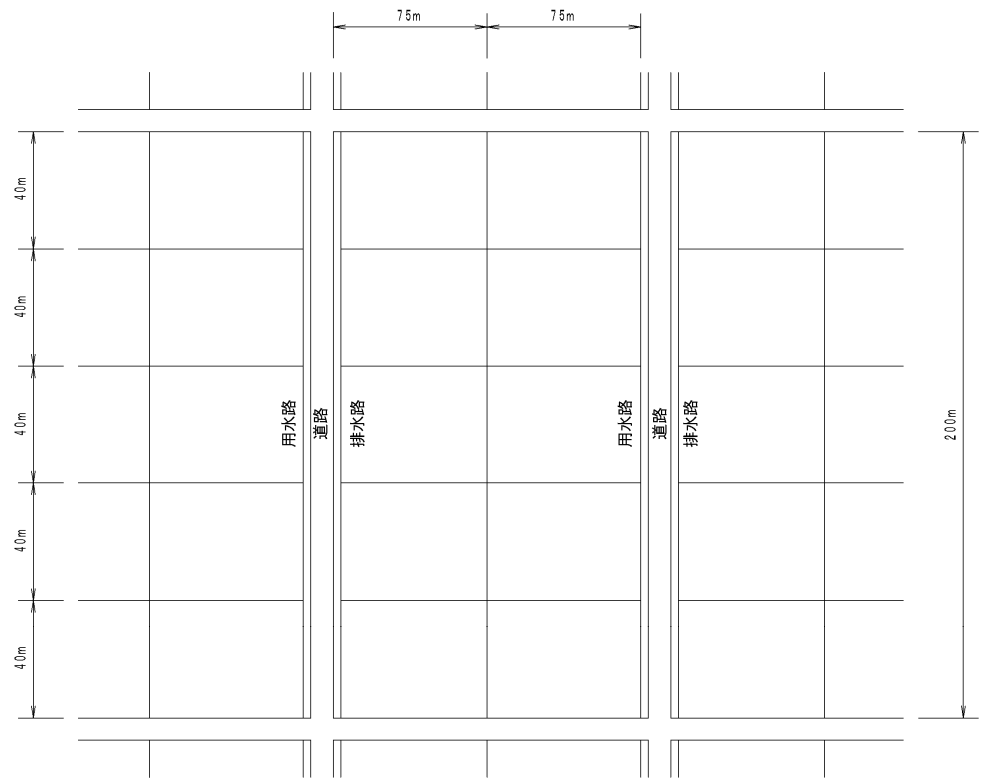
面 積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
2.9	有効土層内に不良土(砂礫等)混入	20	5,800	水田
60.6	有効土層内に不良土(砂礫等)混入	25	151,500	畑
63.5		20～25	157,300	計

(3) 末端道水路配置図

別紙添付模式図のとおり。

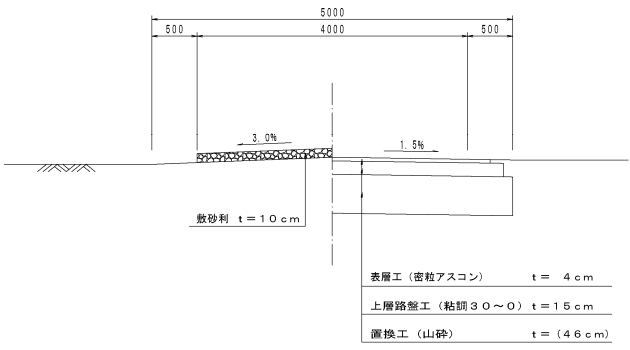
末端道水路模式図

標準区画割図

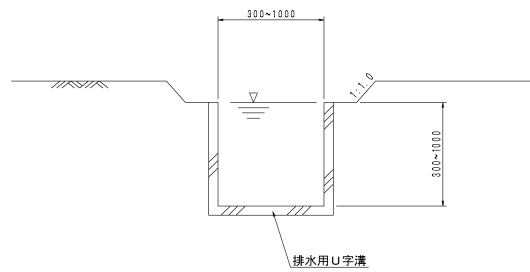


標準構造図

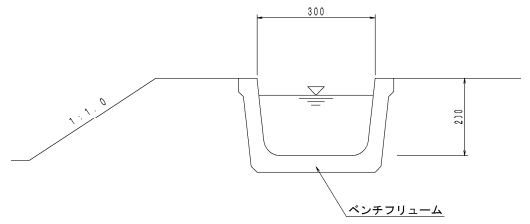
支線道路工



支線排水路



支線用水路工



第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし
2. 頭首工 該当なし
3. 揚水機 該当なし
4. 用水路

(第17表-4)

項 目 名称	かんがい面積(ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事業名				開渠	トンネル・その他	計				
	地区内	地区外	計								
幹線用水路											
支線用水路	2.9		2.9		1,279	-	1,279	BF300	1/250	横断工	
計	2.9		2.9		1,279	-	1,279				

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし
2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開渠	トンネル・その他	計				
幹線排水路									
支線排水路	138.4	0.007～ 1.915	8,341	0	8,341	RDU303～1010	1/100	横断工	
計	138.4		8,341	0	8,341				

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路 線 名	幅 × 延長 (有効) (m) (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最急こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路		5.0(4.0) × 9,240	敷砂利舗装	安全施設工	ガードレール				—	
支線道路		4.0(3.0) × 2,437	アスファルト舗装 敷砂利舗装	安全施設工	ガードレール				—	
耕作道路		3.0(2.0) × 153	敷砂利舗装							
計		11,830								

(2) 道路主要構造物

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

区 分	全体面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画 (ha)	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
全区田	2.9	75m×40m		2.9	5,800	
全区畑	60.6	75m×40m		60.6	151,500	
計	63.5			63.5	157,300	

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 平成29年度

完了 令和5年度

第8章 環境との調和についての配慮

1. 環境との調和への配慮の方針

本地区は、田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域に定められており、農業者や学識経験者等を交えた環境情報協議会を開催し、地区内に生息する動植物の生息・生育空間に配慮した排水路の整備を行い、多種多様な生物が棲息可能な空間の維持・保全を図る方針を定めた。

2. 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

(1) 位置

別紙平面図及び構造図のとおり

(2) 配慮内容

- ・ 環境配慮型水路 一式

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

この事業は、農用地の集団化と農業生産基盤の整備向上を目的とし、土地の区画形質の変更を必要とするため、これに伴う換地計画を樹立する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、地積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	地積(ha)	備考
設定なし	前橋市上細井町、青柳町、龍蔵寺町	78.9	

2. 換地区を設定しない理由

本地区の施行区域には、道路、河川で受益地を分断されているが、全体で約78.9haの規模であることや団地間で極端な相違状況も見当たらないことから、換地区の設定は行わない。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
設定なし	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、この土地改良事業の計画の概要を公告した日の登記簿地積とする。(国土調査済み) ただし、国土調査不採用の土地(筆界未定地)は、国土調査の成果による地積とする。 なお、この土地改良事業計画の概要を公告した日から1ヶ月以内に測量士又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、申出のあった地積とする。	

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

用途 前後 換地区名		農 用 地						道 路 水 路 等										非 農 用 地												合 計	
		一 般 農 用 地				創設農用地	計	機能交換に係る土地				通常事業施行地に含める土地			創設土地改良施設用地			農用地利用計画地	特定用途地			一般国有地	異種目換地	創設非農用地							
		田	畑	草地	小計			国	県	市町村 他	小計	土地改良施設	がけ・やぶ等	小計	土地改良区	その他	小計		宅地	その他	小計			生活経営上必要な施設 〔1〕	生活経営上必要な施設 〔2〕	公用公共用施設用地 〔3〕	宅地等	小計			
設定なし	従前の土地	8.2	60.0	-	68.2		68.2	0.0	-	4.7	4.7	2.3	-	2.3				7.0	0.0	1.4	2.2	3.6	0.1							3.7	78.9
	換地	2.9	60.6	-	63.5	-	63.5	-	-	9.4	9.4	2.3	-	2.3	-	-	-	11.7		1.4	2.3	3.7	-	0.0	-	-	-	-	-	3.7	78.9
	従前の土地																														
合計	従前の土地	8.2	60.0	-	68.2		68.2	0.0	-	4.7	4.7	2.3	-	2.3				7.0	0.0	1.4	2.2	3.6	0.1							3.7	78.9
	換地	2.9	60.6	-	63.5	-	63.5	-	-	9.4	9.4	2.3	-	2.3	-	-	-	11.7		1.4	2.3	3.7	-	0.0	-	-	-	-	-	3.7	78.9

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
設定なし		集落別集団化 地目別、作物別集団化	従前地の密集した位置 を中心に換地する。	概ね3団地	移動畦畔 区画の設定に当たり、短辺が10m以下となるよう な設定はしない。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概要	地 積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	二三男用地	別添計画図に示した位置	0.04	異種目換地	従前地所有者	従前地所有者
	点在非農用地	概ね従前地の位置に換地	3.7	特定用途用地換地	従前地所有者	従前地所有者
計			3.74			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式による。

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

ただし、非農用地区域内に換地する土地については、従前の土地の地積と換地の地積の差積についてのみ清算する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名 / 区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画決定の予定年度	換地処分予定年度	備 考
設定なし	平成 30 年度 ～ 令和 4 年度	令和 6 年度	令和 6 年度	

第6節 換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	区画整理	備考
工事費	1,375,000	令和5年度単価
主要工事	1,375,000	
付帯工事	—	
事務費	68,000	
計	1,443,000	

第11章 効用

(第27表-1)

区分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備考
作物生産効果	26,136	146,710	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	33,806	33,806	〃
維持管理節減効果	△ 4,571	△ 1,343	〃
営農に係る走行経費節減効果	20,251	20,251	〃
耕作放棄防止効果	406	—	農業の持続的発展に関する効果
農業労働環境改善効果	5,801	—	〃
非農用地等創設効果	527	—	農村の振興に関する効果
国産農産物安定供給効果	29,311		その他効果
計	111,667	199,424	

(参考)	総費用（現在価値化）	1,900,052 千円		
	総便益額（現在価値化）	2,615,968 千円	割引率	0.04
	総費用総便益比	1.37	評価期間	47年

第12章 関連する事業

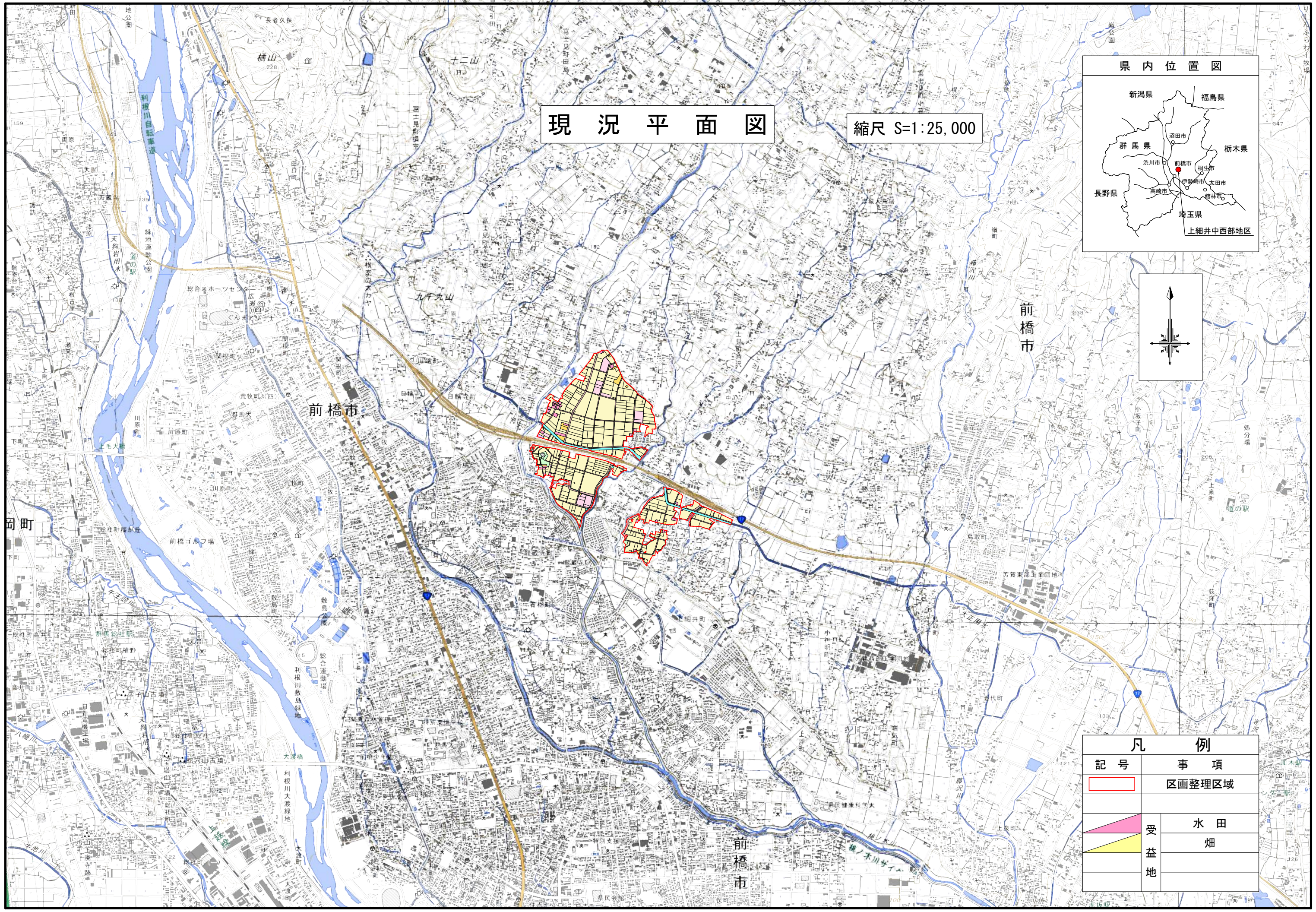
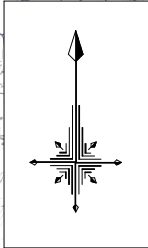
該当なし

第13章 現況・計画図面

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| 1. 現況平面図 | | 別添 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | | 別添 |
| 3. 主要構造図 | | 別添 |

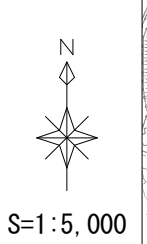
現況平面図

縮尺 S=1:25,000

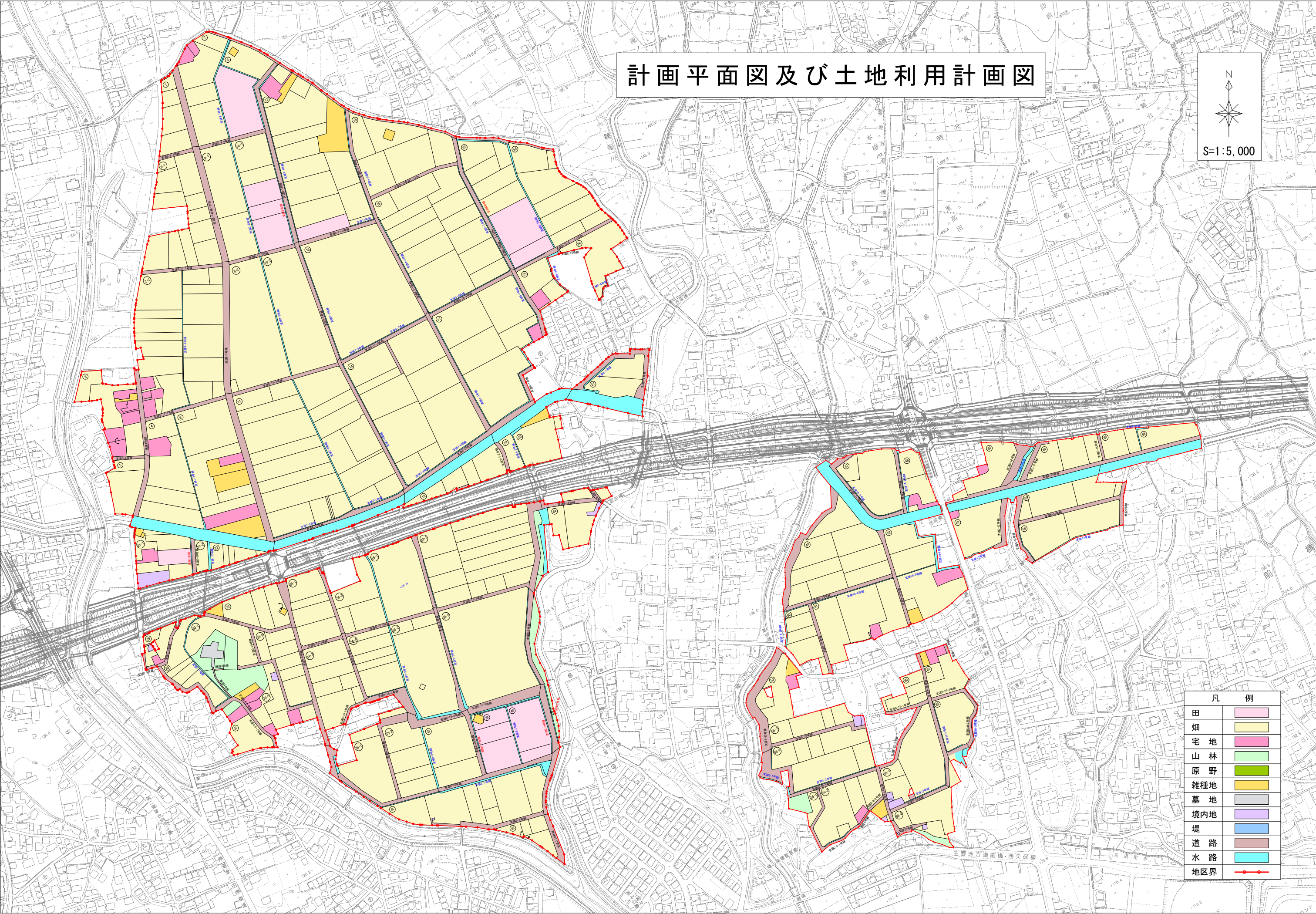


凡 例		
記 号	事 項	
	区画整理区域	
	受益地	水 田
		畑

計画平面図及び土地利用計画図

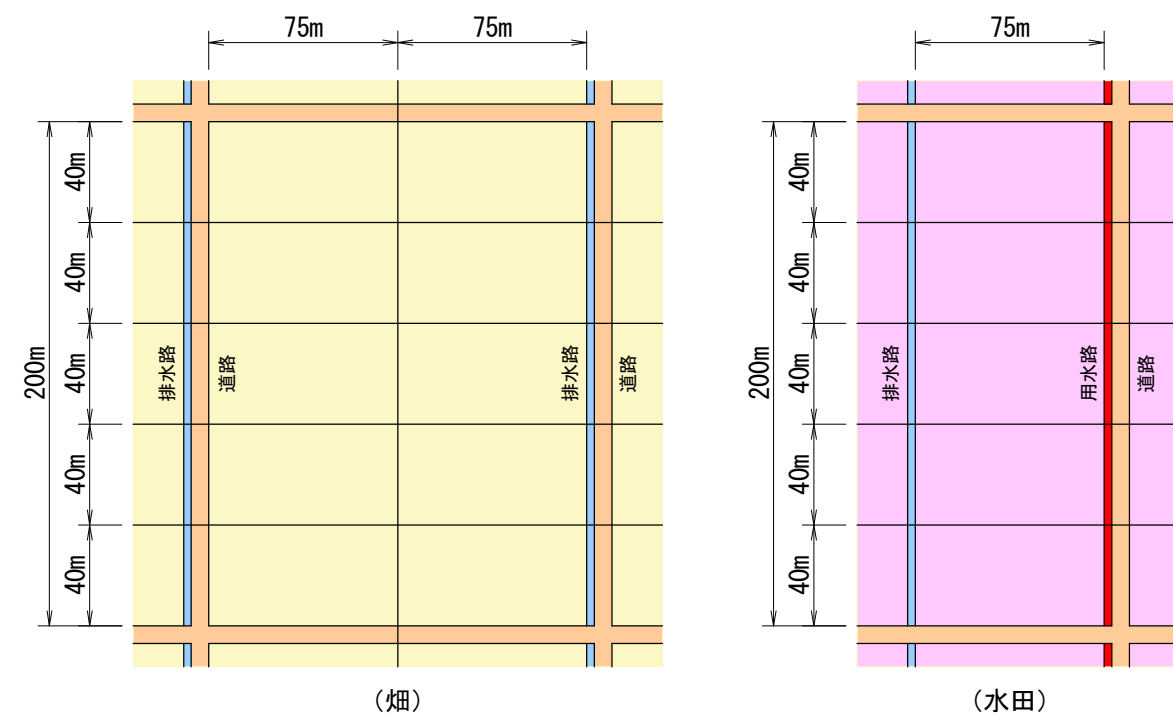


凡 例	
田	
畑	
宅 地	
山 林	
原 野	
雑種地	
墓 地	
境内地	
堤	
道 路	
水 路	
地区界	



主 要 構 造 図

標準区画割図



標準構造図

